

## 歴史系企画展

# 三河のみりん～時代とともに、時代をこえて～

問 文化財課 ☎48-6602



△海外輸出先看板  
(九重味淋(株))

三河地方、中でも碧南市域は、近世よりみりんの産地として知られてきました。その背景には、この地域の気候風土や海運の発展など多くの要因がありました。近代になるとみりん蔵が増え、三河のみりんが国内外で高く評価されるようになりますが、戦時中には厳しい生産統制の時期を迎えます。現在のように家庭の調味料として普及するまでには、時代情勢と絡みながら様々な変遷をたどってきました。

本展では、昔の道具や商標看板、史料を通して、現代に至るまでの三河のみりんの歩みを紹介します。

時 1月29日(出)～3月3日(休) 9時～21時

所 文化会館 ￥ 無料

## ギャラリートーク

学芸員による展示説明会です。

時 1月30日(日)、2月13日(日)、27日(日)  
14時～(20分程度)

所 文化会館 ￥ 無料 申 不要

## 講演会

「醸造業から見た日本の近代」についての講演です。

時 2月5日(出) 14時～15時30分 所 文化会館

講 井奥成彦氏(慶應義塾大学教授) 定 50人 ￥ 無料

申 ①氏名②電話番号③参加人数をメール(✉bunkazai@city.hekinan.lg.jp) 又は電話

## 哲学たいけん村無我苑 イベントガイド

問 哲学たいけん村無我苑 ☎41-8522

### 茶の湯文化講座

テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」でおなじみの増田孝先生が、京都府南部の石清水八幡宮の社僧(真言宗)である、松花堂昭乗の手紙を読み解きます。昭乗は、近衛信尋や小堀遠州、江戸宗玩らと茶の湯を通して深く交わり、また尾張徳川家の家老、家臣とも親交があった人物です。昭乗が書いた手紙の中から一通を選び、その書と人を鑑賞します。

時 3月6日(日) 13時30分～15時30分

講 増田孝氏  
(愛知東邦大学客員教授)

演題 松花堂昭乗の手紙

定 28人(先着順)

¥ 1,500円  
(呈茶200円券付き)

申 2月5日(出)(村民は1月29日(出)) 10時より電話



### 岡本真利子展

「そこは、、、ただ美しいだけの世界では終わらない」  
岡本真利子の描く数々の世界を見に来てください。

時 2月2日(水)～3月27日(日) 9時～17時



ホームページID  
18077



### ワークショップ「コラージュアート作り」

廃材を使用し絵の具や様々な素材を使ってコラージュします。プレゼントにもおすすめです。

時 2月20日(日)、3月12日(出)、13日(日) 13時30分～15時30分

定 各10人(先着順)

¥ 2,000円(材料費含む/呈茶200円券付き)

申 1月9日(日)10時よりあいち電子申請・届出システム又は電話



全共通

所 哲学たいけん村無我苑